

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、研究機関の長の許可を得て行います。

① 研究課題名	黄斑円孔術後の網膜外層の形態改善と視機能との関連		
② 研究期間	研究実施許可日～2025年12月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で黄斑円孔の手術を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2013年1月1日から2022年3月31日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学 この研究は他の施設と共同で行い、データ提供します。他の施設は研究体制参照。		
⑥ 研究責任者	氏名	緒方 奈保子	所属 奈良県立医科大学眼科学
⑦ 使用する試料・情報等	年齢、性別、眼の左右、症状発生から治療までの期間、屈折値、眼軸長、眼圧、視力、光干渉断層計画像、手術内容の情報		
⑧ 研究の概要	黄斑円孔は、網膜の中央にある黄斑に丸い穴（円孔）があく疾患で手術による加療が必要です。手術後に黄斑円孔が閉鎖した後に、どのようにして網膜形態が変化し元の状態のように戻っていくのかについては未だその詳細はよく分かっていません。また、それぞれの目において黄斑円孔の大きさ、術後の網膜形態変化は様々です。そこで、多施設の患者さんのデータを収集し、多数例のデータをもとに、黄斑円孔閉鎖術前後の網膜形態変化について光干渉断層計を用いて詳細に調べ、どのように網膜形態が改善していくのか、さらにその構造的変化と視力との関連を明らかにすることが目的です。		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	年 月 日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。ご希望される場合は、「⑬ 問合わせ先・相談窓口」にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の取扱い	カルテIDや氏名などの個人情報を研究用IDに置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテIDと研究IDの対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個		

	人が特定される情報が公開されることはありません。 データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態でデータを入れたCDを郵送します。		
⑬ 問い合わせ先・ 相談窓口	奈良県立医科大学眼科学 担当者：藤原克彦		
	電話	0744-29-8884	FAX 0744-23-8032
	Mail	fujiwara-k0213@naramed-u.ac.jp	

研究体制

研究代表者：

秋田大学大学院医学系研究科眼科学講座 岩瀬 剛

共同研究機関：

研究機関の名称	研究責任者氏名
三重大学医学部附属病院	近藤 峰生
東京医大八王子医療センター	志村 雅彦
滋賀医科大学医学部附属病院	柿木 雅志
兵庫医科大学医学部附属病院	五味 文
鹿児島大学医学部附属病院	坂本 泰二
奈良県立医科大学附属病院	緒方 奈保子
防衛医科大学医学部附属病院	竹内 大
福井大学医学部附属病院	高村 佳弘
神戸大学医学部附属病院	楠原 仙太郎
大阪医科薬科大学医学部附属	喜田 照代